



さんびょう 三錨

ほんきに げんきに こんきよく
よっかいちしりつとみすはらしょうがっこう
四日市市立富洲原小学校
がっこう
学校だより NO. 19
れいわ
令和4年 9月 16日

●校内作品展を行いました。

今年度から、子どもたちが夏休みに取り組んできた課題を校内で展示することにしました。子どもたちが夏休みに一生懸命作り上げた作品を子どもたち同士も見合い、今後に生かしてほしいと考えたからです。



子どもたちからも「これ、こんなふう頑張って作ったんやで。校長先生、見てくれた?」という声もありました。他の学年の作品展に鑑賞にいった子どもたちの中からも「〇〇さん、すごいね。こんな上手にポスター描いたんや。」「この子、わたしの班の班長やに。こんな実験したんや。」「ぼくも大きくなったら、こんな作ってみたい。」「…などの声がありました。このような機会を通じて、上級生から学んだり、自分の取組を自信もって発表できたりすることが、子どもたちの成長に大きく影響します。来年度は、保護者のみなさんにも見ていただける機会となればいいなあ…と考えています。なお、三泗小 中社会科展、科学展に校内代表として選出された作品につきましては、中学校舎1階に展示してあります。学校へ来校の際に、ぜひご覧ください。

●交通安全教室(1年、3年)

9月7日(水)、「とみまつ隊」のみなさんに来ていただき、1年生、3年生が交通安全教室を行いました。1年生は登下校に慣れてきましたが、県内でも、飛び出しや安全確認の怠りなどから交通事故に巻き込まれてしまうケースもあります。そこで、「横断歩道の安全な渡り方」を教えてくださいました。「忘れずに左右を確認すること」「運転手さんに気づいてもらいやすいように手を大きく挙げること」「建物や塀など見えにくい場所もあわてない、飛び出さない」ということを言われました。

3年生は「安全な自転車の乗り方」です。市内でも自転車による飛び出しで事故にあった児童もいます。「きちんとヘルメットをかぶること」「自転車に乗っているときも交差点では、きちんと左右を確認すること」な

どを伝えてもらいました。一人ひとり、一つしかない大切な命です。事故に巻

き込まれることのないよう、学校でも引き続き指導していきます。ご家庭でも

常日頃から「交通安全」についてお話してください。



● 中学校の 乗り入れ授業

四日市市では、中学校への進学にあたり、少しでも子どもたちの感じる段差がスムーズになるように…との取組から、「乗り入れ授業」を行っています。中学校の教員が小学校に来て授業を教えます。今まで慣れていない授業の形式で、ピリっとするところもありましたが、「大丈夫だよ。中学校でもわからなかったら聞けばいいよ。」「こんな面白い実験もするよ。」など、子どもたちが安心してできるように声をかけながら、授業をしていただきました。6年生だけでなく、5年生にも入っていただいています。機会をみて、中学校との連携を進め、子どもたちがスムーズに進学できるようにしていきます。



● 「子どもの未来を語る会」を開催しました。

9月12日(月)、PTA主催の「子どもの未来を語る会・家庭教育講座」が開かれました。この会は、保護者さんと教職員が膝を突き合わせて、“ざっくばらん”に子どもたちの未来のことについて話し合う会です。今年度は、子どもたちがこれからの時代、避けて通ることができないSNSに関する話で話し合いました。まずは、「知らなかったでは遅い。子どもを取り巻くネットトラブル」と題し、(公財)反差別・人権研究所みえの安田賢行さんに、子どもたちがおかれている現状について、話していただきました。何度も問題提起をしていただき、みんなで考えました。参加いただいたみなさんの感想を紹介します。

- とても広く深い内容で参加できてよかったです。とてもわかりやすく興味をもって聞くことができました。
- SNSという身近なツールで自分を含めて身近な人権が脅かされていることを改めて思い知りました。
- 「既読スルー」や「見て見ぬふり」で済ませることが多くあるなあ…と改めて感じました。難しく、答えが出にくい問題に対して、考えることをあきらめたり、めんどくさを感じたりしていましたが、少しずつ、子どもと一緒に考えたり、話したりしていこうと思いました。
- 普段からネットトラブルだけでなく、子どもと話し合える関係や相談しやすい環境も作りたと思いました。
- ネット環境にある子どもたち、トラブルを恐れて禁止したり、与えなかったりするのではなく、一緒に考えること、話し合うことが大事だと思いました。
- もっと子どもと話すことをふやしていきたいと思いました。家の中でついつい自分が忙しいとあと回しや軽い返事で終わらせてしまうことに反省しました。
- このようにためになり、考えさせられる話を少数の保護者の方しか聞いていただけなかったのは、もったいないなあ…と思いました。